

校長のひとり言

祈願「受験合格、交通安全」

■ 新年明けまして おめでとうございます。ご家族の皆様と一緒に、良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

酉年を迎えた三箇日は、穏やかな日和となり、初詣に出かけられた方も多かったのではないかと思います。私も元旦に家族と神社にお参りし、無病息災、仕事、家族のことなど、欲張って多くのお願いをしました。

皆さんにとって良い年となることをお祈り申し上げます。

■ さて、大学入試センターテストが終了し、本格的な受験がスタートしました。

受験に対しては、最後まであきらめないで、ねばり続けることが重要です。全ての受験生には、この難局を乗り越えられることに期待するとともに、希望が叶うことをお祈りしています。

一方、多くの就職希望者には企業から内定を頂き、新たな出発に心躍る状態と思います。後期試験も終わり卒業式を迎えるばかりとなっていますが、健康に留意し日々を過ごしてください。

就職活動が継続中の人の中には、不安や焦りで強い緊張を感じている人もいますが、担任の先生や進路部、ハローワーク等に相談しながら、歩みを進めてください。応援しています。

■ 今回は交通安全について思うことがあります。昨年10月末くらいから進路決定者を多く含む自動車通学者が増えました。駐車場には初心者マークの付いた自動車が多く確認できます。

卒業後に通学や通勤手段等で自動車を利用するため、運転免許の取得を急ぐ傾向にあります。加えて、宍道高校は他校と違い、自動二輪や自動車などによる通学を申請許可していることも運転免許取得者の増加の要因となっています。

私は交通事故を心配しています。加害者になっても被害者になっても心が痛み、周りの人達も辛く悲しい思いをすることになります。

運転には最善の注意を払い、譲り合いの心で、気持ち良い運転に心がけ、交通事故の無い社会をみんなで築いてほしいと願っています。

改めて伝えますが、通学の際は他の生徒の同乗を認めていません。不慮の事故等で同乗者を傷つけ、後悔することは避けてほしいのです。

■ 昨今の自動車事故からみると、操作ミスと安全確認の不足が発生要因であることが分かります。数年前に比べ安全性が高い車両が開発され普及してきましたが、あくまでも危険回避補助や事故発生時の軽減までの内容であり、全てをカバーしてくれる安全な自動車は存在しません。車両に搭載されている電子回路やカメラなどの精密機器はトラブルが発生すると誤作動を起こすことも考えられます。

求められるのは、操作するドライバーの安全運転が必要不可欠であることを再認識していただきたいと思います。

■ この時季、路面の圧雪や凍結が心配されます。荒天の時には、休日であれば無理な外出は控える、安全走行（アクセルとブレーキ操作に注意）に心がけるなど、十分に気を付けて運転してください。

編 | 集 | 後 | 記

今年は暖冬といわれていましたが1月末は大雪になりましたね。みなさん、車での移動など大丈夫でしたか？宍道高校も一面の銀世界（表紙を見てください!!）学校の周りの木々は雪の重みで枝が折れそうになっていました。

雪が降らないと「雪がなくて冬らしくないね」と…。雪が降ると「わあ、大変だ!!」と…。雪も好かれたり嫌われたり。「過ぎたるは猶及ばざるが如し」今回の雪を皆さんはどう感じられましたか？